

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月14日

上場会社名 三精輸送機株式会社  
 コード番号 6357 URL <http://sanseiyusoki.com/>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 三和 正明  
 (氏名) 昇 賢治  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6385-5621

平成20年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	5,328	—	537	—	642	—	531	—
20年3月期第2四半期	6,410	16.3	834	160.7	1,055	157.2	336	△11.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年3月期第2四半期	27.63	—
20年3月期第2四半期	17.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
21年3月期第2四半期	26,763	—	23,775	—	83.0	1,154.90
20年3月期	27,854	—	23,620	—	79.3	1,148.46

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 22,216百万円 20年3月期 22,097百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
20年3月期	—	7.00	—	13.00	20.00
21年3月期	—	7.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	11,200	△17.7	950	△53.9	1,100	△53.4	650	0.5	33.78

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注) 詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 [(注) 詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期 19,332,057株	20年3月期 19,332,057株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期 94,967株	20年3月期 91,210株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期 19,239,403株	20年3月期第2四半期 19,244,913株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上半期実績を反映し平成20年9月15日に公表いたしました平成21年3月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成20年11月14日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する米国経済の後退等の影響から、国内企業においても企業収益が減少し設備投資抑制指向が強まるなど、景気は一段と減速傾向が強まってまいりました。

このような環境の中、当社グループは、受注時点での採算重視の徹底、高い生産性・効率性の追求による採算の改善等、業績の向上に懸命の努力を注いでまいりましたが、好調であった前年同期水準からは厳しい結果となりました。

すなわち、売上高は5,328百万円と前年同期比16.9%の減収となりました。主な事業の部門別では、舞台機構部門で大型物件が完工をみたことをはじめ、修理保守部門も堅調に推移いたしましたものの、第3四半期以降に完工物件を抱える昇降機部門や、前年好調であった遊戯機械部門が低調でした。

利益面につきましては、売上高の減少に伴い営業利益537百万円（前年同期比35.6%減）経常利益642百万円（同39.2%減）と前年同期を下回る結果となりました。

尤も、四半期純利益は、投資有価証券評価損83百万円を特別損失として計上しましたものの、当社福知山工場及び同独身寮等の売却による固定資産売却益506百万円を特別利益として計上すること等により、531百万円と前年同期比58.0%増加いたしました。

なお、前年同期比増減率につきましては参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

資産の部では、流動資産は前連結会計年度末に比べ、542百万円減少し12,677百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1,557百万円と現金及び預金の増加685百万円ならびに有価証券の増加550百万円によるものです。固定資産は前連結会計年度末に比べ549百万円減少し14,085百万円となりました。これは主に、当社福知山工場売却に伴う建物等及び土地の減少によるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,091百万円減少し26,763百万円となりました。

負債の部では、流動負債は前連結会計年度末に比べて979百万円減少し1,752百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少671百万円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ266百万円減少し1,235百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,245百万円減少し2,988百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ154百万円増加の23,775百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加281百万円とその他有価証券評価差額金の減少158百万円によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、6,870百万円となり、前連結会計年度末に比べ685百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,144百万円となりました。これは主に、売掛債権の回収による収入1,557百万円があったことと、法人税等の支払467百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は169百万円となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入955百万円があったものの、債券等の取得による支出800百万円及び有形固定資産の取得による支出367百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、289百万円となりました。これは主に、配当金支払額249百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界規模での景気後退懸念が強まる中、国内におきましても厳しい局面を迎えるものと予想されます。このような状況の中で、現時点における通期の連結業績の見直しにつきまして、第2四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行なった結果、平成20年5月15日に公表いたしました平成21年3月期連結業績予想を修正しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

当連結会計年度末の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積

り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

④原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債に繰延べております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益及び営業利益が4,559千円、経常利益が4,559千円、税金等調整前四半期純利益が4,559千円それぞれ減少しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,182,996	6,497,946
受取手形及び売掛金	2,014,395	3,571,684
有価証券	2,217,885	1,667,133
仕掛品	658,929	778,190
原材料及び貯蔵品	291,174	318,207
その他	312,308	388,339
貸倒引当金	△134	△1,891
流動資産合計	12,677,554	13,219,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,399,628	1,740,863
土地	2,615,073	2,812,737
その他(純額)	669,792	2,488,753
有形固定資産合計	6,684,493	7,042,355
無形固定資産		
ソフトウェア	63,616	66,577
その他	13,971	13,971
無形固定資産合計	77,588	80,549
投資その他の資産		
投資有価証券	5,541,182	5,703,853
その他	1,795,197	1,822,554
貸倒引当金	△12,881	△13,994
投資その他の資産合計	7,323,498	7,512,414
固定資産合計	14,085,580	14,635,319
資産合計	26,763,134	27,854,930

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成20年9月30日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	503,711	1,175,242
未払法人税等	429,398	466,919
前受金	248,540	403,470
賞与引当金	285,435	284,961
役員賞与引当金	—	24,000
工事損失引当金	6,748	12,079
その他	278,474	365,531
流動負債合計	1,752,308	2,732,206
固定負債		
退職給付引当金	699,131	756,897
長期未払金	379,801	462,477
その他	156,875	282,443
固定負債合計	1,235,808	1,501,819
負債合計	2,988,117	4,234,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,989,057	2,989,057
利益剰余金	15,632,695	15,351,320
自己株式	△66,291	△63,200
株主資本合計	21,806,741	21,528,456
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	410,153	568,933
評価・換算差額等合計	410,153	568,933
少数株主持分	1,558,122	1,523,514
純資産合計	23,775,016	23,620,905
負債純資産合計	26,763,134	27,854,930

## (2)【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年9月30日)

売上高	5,328,935
売上原価	3,652,328
売上総利益	1,676,607
販売費及び一般管理費	1,138,920
営業利益	537,687
営業外収益	
受取利息	22,187
受取配当金	36,380
保険配当金	29,766
その他	19,413
営業外収益合計	107,748
営業外費用	
支払利息	307
支払手数料	1,319
その他	1,760
営業外費用合計	3,387
経常利益	642,048
特別利益	
固定資産売却益	506,310
貸倒引当金戻入額	2,869
特別利益合計	509,180
特別損失	
投資有価証券評価損	83,225
固定資産除却損	676
たな卸資産廃棄損	1,237
出資金評価損	1,000
支払補償金	501
特別損失合計	86,640
税金等調整前四半期純利益	1,064,588
法人税、住民税及び事業税	454,594
少数株主利益	78,487
四半期純利益	531,506

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,064,588
減価償却費	143,302
ソフトウェア償却費	11,857
長期前払費用償却額	2,597
賞与引当金の増減額(△は減少)	473
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△5,330
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△57,765
長期未払金の増減額(△は減少)	△82,676
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,869
受取利息及び受取配当金	△58,567
支払利息	307
出資金評価損	1,000
たな卸資産廃棄損	1,237
投資有価証券評価損益(△は益)	83,225
固定資産売却損益(△は益)	△506,310
固定資産除却損	676
売上債権の増減額(△は増加)	1,557,288
たな卸資産の増減額(△は増加)	145,056
仕入債務の増減額(△は減少)	△708,922
前受金の増減額(△は減少)	△154,930
その他の資産の増減額(△は増加)	△47,429
その他の負債の増減額(△は減少)	△38,531
未払消費税等の増減額(△は減少)	228,212
小計	1,552,488
利息及び配当金の受取額	59,605
利息の支払額	△307
法人税等の支払額	△467,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,144,312

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△743,365
定期預金の払戻による収入	743,365
有価証券の取得による支出	△600,180
有価証券の売却による収入	50,000
投資有価証券の取得による支出	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△367,033
有形固定資産の売却による収入	955,230
無形固定資産の取得による支出	△9,158
貸付けによる支出	△3,490
貸付金の回収による収入	5,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△3,090
配当金の支払額	△249,915
少数株主への配当金の支払額	△36,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289,006
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	685,926
現金及び現金同等物の期首残高	6,184,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,870,713



(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

（事業の種類別セグメント情報）

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの連結売上高の合計、営業利益の合計額に占める製造業の割合がいずれも90%を超えるため事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

（所在地別セグメント情報）

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

本国以外の国または地域に所在する支店・営業所及び連結子会社はないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

該当事項はありません。

「参考」

(1) 前中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		6,410,672 100.0
II 売上原価		4,464,193 69.6
売上総利益		1,946,479 30.4
III 販売費及び一般管理費		1,111,612 17.4
営業利益		834,867 13.0
IV 営業外収益		
1 受取利息	24,125	
2 受取配当金	45,888	
3 有価証券売却益	3,985	
4 保険関係受入益	145,070	
5 その他	8,142	227,212 3.6
V 営業外費用		
1 支払利息	1,235	
2 その他	5,131	6,367 0.1
経常利益		1,055,712 16.5
VI 特別利益		
1 貸倒引当金戻入益	5,355	
2 投資有価証券売却益	12,172	
3 固定資産売却益	110	17,638 0.3
VII 特別損失		
1 固定資産廃棄損	482	
2 在庫材料廃棄損	108	
3 投資有価証券評価損	117,219	
4 退店補償金	58,179	
5 投資有価証券売却損	252	176,243 2.8
税金等調整前中間純利益		897,107 14.0
法人税、住民税及び事業税	383,311	
法人税等調整額	84,419	467,731 7.3
少数株主利益		92,992 1.5
中間純利益		336,383 5.2

## (2)前中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 税金等調整前中間純利益	897,107
2 減価償却費	64,332
3 長期前払費用償却額	1,884
4 ソフトウェア等償却費	12,016
5 賞与引当金の増減額	7,027
6 役員賞与引当金の増減額	△ 20,000
7 工事損失引当金の増減額	△ 39,709
8 退職給付引当金の増減額	27,492
9 長期未払金の増減額	△ 94,820
10 貸倒引当金の増減額	△ 5,355
11 受取利息及び受取配当金	△ 70,014
12 支払利息	1,235
13 有価証券売却益	△ 3,985
14 投資有価証券評価損	117,219
15 投資有価証券売却益	△ 12,172
16 投資有価証券売却損	252
17 有形固定資産売却益	△ 110
18 材料廃棄損	482
19 売上債権の増減額	2,019,376
20 たな卸資産の増減額	56,357
21 仕入債務の増減額	△ 1,043,241
22 前受金の増減額	△ 388,073
23 その他資産の増減額	39,142
24 その他負債の増減額	35,158
25 未払消費税等の増減額	△ 62,146
小計	1,539,458
26 利息及び配当金の受取額	71,052
27 利息の支払額	△ 1,235
28 法人税等の支払額	△ 473,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,135,445
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 定期預金の預入による支出	△ 30,000
2 定期預金の払戻による収入	30,000
3 有価証券の取得による支出	△ 299,587
4 有価証券の売却による収入	174,537
5 投資有価証券の取得による支出	△ 501,440
6 投資有価証券の売却による収入	17,248
7 有形固定資産の売却による収入	200
8 有形固定資産の取得による支出	△ 182,530
9 無形固定資産の取得による支出	△ 4,350
10 貸付による支出	△ 14,500
11 貸付金の回収による収入	11,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 799,254
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 自己株式の取得による支出	△ 4,201
2 配当金の支払額	△ 250,609
3 少数株主への配当金の支払額	△ 24,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 278,810
IV 現金及び現金同等物の増減額	57,380
V 現金及び現金同等物の期首残額	7,606,061
VI 現金及び現金同等物の中間残高	7,663,441